

を記載した。

### References

- OHBAYASHI, N., 1968. On two species of Pyrochroidae from Amami-Ōshima Island. *Ent. Rev. Japan*, **20**: 35–36.
- SASAJI, H., 1985. Pyrochroidae. In KUROSAWA, Y., et al. (eds.), *The Coleoptera of Japan in Color*, **3**: 355–357. Hoikusha, Osaka. (In Japanese.)

---

*Elytra, Tokyo*, **18** (1): 107, May 15, 1990

### 台湾産カミキリムシ目録刊行される (論文紹介)

HAYASHI, M., S. NAKAMURA, H. MAKIHARA, A. SAITO & Y.-I. CHU: A list of cerambycid-beetles from Taiwan, (I), (II), (III). *Chin. J. Ent.*, **8**: 165–184 (1988); **9**: 87–136 (1989); **9**: 289–300 (1989). [著者の順は各回で異なる.]

アジアのなかで、日本を除けばカミキリムシ相のもっともよく調べられている地域が台湾であることは周知の事実であるが、その全体像については、少なくともこれまでは、MITONO (1940) や GRESSITT (1951) などの 40~50 年も前の論文しか参考にするものがなかった。また、一昨年の暮れに刊行された「彩色図鑑台湾的天牛 (余清金・奈良一共著)」には、既知種のうちの著名なものが図示され、採集品の同定には便利であったが、紹介書の域をでてはいない。

今回、台湾と日本の著者によって出版された本論文は、チェックリストであるから図説書とは性格が異なるが、分布疑問種以外のすべての既知種がひととおり掲載されているので、台湾産のカミキリムシを調べる際に必見の論文といえる。論文は、1988 年から 1989 年にわたり、3 回に分けて台湾の「中華昆蟲」誌上に掲載され、第 1 回目がホソカミキリ (5 種) およびニセクワガタカミキリ (2 種)、ノコギリカミキリ (21 種)、カンショハナカミキリ (2 種)、マルクビカミキリ (6 種)、クロカミキリ (1 種)、ハナカミキリ (96 種) の各亜科、第 2 回目がフトカミキリ亜科 (311 種)、第 3 回目がカミキリ亜科 (224 種) となっている (括弧内は各亜科に含まれる種数)。本リストには、これらの合計 668 種について種名および中国名が羅列されているが、原記載の出典がでているのはなぜか第 2 回目までで、第 3 回のカミキリ亜科についてはこれが省かれている。

私は、著者の一人の榎原寛氏を通じて、初期の段階の原稿を通読しているのだが、そのときにはカミキリ亜科にも原記載が記されていたので、この省略はおそらく出版事情によるものなのだろう。あわせて、印刷段階における校正が不十分だとしかいいようのない誤りが各所にみられるのは残念である。なお、著者らによれば、誤りを訂正し、原記載なども完全に収録した形で、今度は国内から再出版する計画があるという。

(新里達也)